

帯広市立啓西小学校

指定年度：H28～
児童数：376名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

協働意識を高める工夫 …啓西小の児童は啓西小の全教職員で育てる…

年度の初めに、まずこの言葉を全員で確認した。また、過去の全国学力・学習状況調査や学校評価の結果から、本校の喫緊の課題を児童の「学力の向上」と「自己肯定感の向上」とおさえ、組織的な取組を進めていくために、全教職員の「協働意識の高揚」を重視した。

【学年内担任副担任制・教科担任制】

統一感ある学年経営に加えて、年度初めに「学年内で各担任が互いの副担任となる」ことを児童と保護者に明示し、複数の目での指導や相談しやすい体制を整備した。また、学年の実態に応じて担任の得意分野を生かした交換授業や教科担任制に取り組んだ。

【全スタッフによるチーム編成】

上記の取組に加えて各ブロックに担任を持たない教師、特別支援学級の担任や特別支援補助員・介助員を配置しチーム編成を行った。チーム内での指導や、印刷作業、掲示物作成作業等を分担することにより個々の教職員の負担軽減に努めた。

【勤務時間と退勤時刻の管理】

帯広市の働き方改革推進プランの目標に基づき、教育委員会から提供されたシステムを活用して、超過勤務時間の全体の平均時間を月別に掲示し管理した。また、定時退勤時刻（16:30）と、校舎施設が目安となる18時にBGMを流して意識付けを図った。

【事務部の参画】

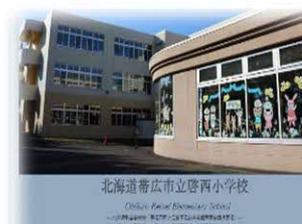
本事業のためのミッション加配として、事務職員が1名加配されていることを生かして、教務部と事務部を校務分掌の中心に据えた。これにより教育課程や個別の生徒指導等にも、事務職員が積極的に参画している。

また、ホームページを毎日更新するための写真撮影、企画書に基づく更新作業を、事務部を中心に組織的に行うなど、学校からの情報発信において重要な役割を果たしている。

【複数で見守る校内体制】



【勤務時間を意識させる掲示物の作成】



【事務部を中心に作成したホームページ】

2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

□複数の目で見える習慣の定着

職場の同僚性が高まり、学力向上はもとより生徒指導や特別支援教育の面で複数の目による指導、児童の居場所づくりが進んだ。

□協働意識の高まりによる「働き方改革」の促進

複数体制やチーム編成により、学校の働き方改革が進んだ。

■家庭・地域との連携の強化

コロナ禍により停滞したCS等の取組を推進させたい。【教職員アンケートの結果（R2）】

